

松前町誌編さん審議会 会議録

1 開催日時	令和4年1月21日(金) 16時～17時15分
2 開催場所	松前町役場 3階 大会議室
3 出席者 (敬称略)	<p>【会長】 升田年紀 【副会長】 麻生英毅</p> <p>【委員】 大野宏貴、岡田敏彦、伊賀上恒英、菅啓三、 辻正道、郷田和美、村上一郎、大西多美子</p> <p>【事務局】 総務課長：田中俊臣 町誌編さん室 室長：和田欣也、同 主任：久保美文</p> <p>【委託業者】 セキ株式会社 3名</p>
4 議題	<p>(1) 松前町誌編さん業務委託業者の選定について（報告）</p> <p>(2) 松前町誌編さん業務の内容（体制、編さんの進め方、スケジュール等）について（報告・協議）</p> <p>(3) 続松前町誌（仮称）の構成（大枠）について（協議）</p>
5 会議の公開	公開
6 傍聴人数	0名
7 議事内容 (発言者) 事務局 会長	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 審議会の公開、会議録の作成について</p> <p>(1) 審議会は、原則公開し、公にすることで事業の適正な遂行に支障を及ぼす場合がある事項は非公開とする。</p> <p>(2) 会議録は、ホームページ等で公開する。</p>
会長（議長）	事務局へ報告依頼「松前町誌編さん業務委託業者の選定について」
事務局	<p>4 議題</p> <p>(1) 松前町誌編さん業務委託業者の選定について</p> <p>【説明の概要】</p> <p>ア 業者選定の方法 公募型プロポーザル方式により委託業者を募集したところ、4社から応募があったため、あらかじめ定めた基準により審査し、契約候補者を選定した。</p> <p>イ 契約 契約候補者との協議が調ったことから、令和3年12月24日に契約を締結した。契約期間は、同日から令和8年2月27日まで（町誌の納品は令和7年12月26日まで）で、委託額は、36,575,000円（税込）である。</p>

委員	<p>質問・意見なし</p> <p>「松前町誌編さん業務委託業者の選定について」終了。</p>
会長（議長）	<p>説明依頼「松前町誌編さん業務の内容について」</p>
委託業者	<p>4 議題</p> <p>(2) 松前町誌編さん業務の内容（体制、編さんの進め方、スケジュール等）について</p> <p>【説明の概要】</p> <p>ア 編集方針等 対話する町誌</p> <p>イ 編集計画・体制 令和7年12月末の町誌の完成に向け、社内体制、町や関係機関との体制、執筆・校正の体制を整え、編さんに当たっていく。</p>
会長（議長）	<p>質問・意見のある方に挙手を求める。</p>
委員	<p>（有識者による執筆及び情報提供・サポートに掲載されている）先生方8人のうち6人は知っている方なので、非常に頼もしく思う。埋蔵文化財関係の方が少し多いことが気になる。中世や古代あたりの先生がいれば良いという感じがする。</p> <p>「新居浜市の歴史」は、私も1項目関わらせてもらっており、八幡浜市誌の情報も（市誌編さんに携わった方から）私の方に入っている。また、個人的なことで、かなり古いが、愛媛新聞の110周年の記念のときに「よみがえる伊予の古代展」という展示会をして、そのときにセキさんに（業務を）お願いしたことがある。かなり構成が良かったと思っているので、その点でも楽しみにしている。</p>
委員	<p>先ほど町から業者選定について、書籍と電子書籍の両方で出版すると説明があった。（続いて、委託業者からの）町誌編さん業務の説明では、電子書籍についてあまり記述がなかったが、こういった形で進めていくのか、また、今の時代にあった電子書籍とはどうあるべきなのか。</p> <p>もう1点、情報収集を含め、編さんは町誌編さん室が中心になって進めていくと思うが、（町と業者の）主従関係など、役割分担ができ、上手く調整がついて心配ない状態であるか教えていただきたい。</p>

<p>委託業者</p>	<p>電子書籍は、現在、一般的に多くなっているものが「e-book」である。PDFを本のようにめくっていくものになるが、町誌でも「e-book」を考えている。検索機能がついており、例えば「出作遺跡」と入力すると、該当ページがここにあると表示される。</p> <p>電子書籍の良いところは、パソコンで見られることと、大きな本を持ち運びしなくてすむことである。あとは、学校関係などいろいろな調べ物をする際に、検索機能が付いているので便利である。若い世代の方たちは、電子書籍で本を読むことが多くなってきた。</p> <p>電子書籍の形式は様々で、JPEGでページをばらばらに分けて書籍にしているものもある。PDFは、ワードやエクセル、イラストレーターなどのソフトで共通して使えるので、PDFを使用する「e-book」は、今1番適切だと社内で推奨しているし、私もそう思っている。今後、町誌編さんの長い期間で状況が変わるかもしれないし、町誌はページ数が非常に多くPDFで保存ができるか検討が必要だと思っているので、協議の上で決めていきたいと思っている。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料収集は、こちらもこれからということになるが、主に町の資料に関しては町で、その他の資料は各機関や協力員にお願いしていくようになるので、委託業者がメインで、町も随時関わりながら資料収集を進めていきたいと考えている。</p> <p>現在、町にある資料の収集を始めている。40年という期間になるので、資料がないケースも出てきている。不足資料の代替資料の提案など、委託業者の今までのノウハウを生かしていただき、収集を進めていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>電子書籍は、前回の審議会では有償であると聞いたが、先ほどの説明では、作成数が（冊子）800と（電子書籍）200であり、価格の偏りが大きく出るのではないかと心配がある。その点の調整はどうなっているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現町誌の販売価格が、実質印刷代のみの価格になっているので電子書籍の場合の単価は大分下がってくる。多少単価の差が出て仕方がないとは考えているが、発刊までには適正な単価を考えていきたい。</p> <p>他の自治体を見ると、全く同じ代金というところは調べた限りではなく、実際にかかった単価で支払っている自治体が多いのではないかと思う。現在、冊子の刊行数を多くしているが、今後編さんを進める中で、電子書籍の方が良いという声が多くあるようであれば、改めて部数は検討していきたいと考えている。</p>

<p>会長（議長）</p>	<p>他に質問や意見がないため「松前町誌編さん業務の内容について」終了。 事務局へ説明依頼「続松前町誌（仮称）の構成（大枠）について」</p>
<p>事務局</p>	<p>4 議題</p> <p>(3) 続松前町誌（仮称）の構成（大枠）について</p> <p>【説明の概要】</p> <p>ア 編集コンセプト 構成（編）は、原則として現町誌の構成に沿ったものとし、必要に応じて見直す。</p> <p>イ 町誌構成（編）案</p> <p>(ア) 巻頭に「地図・写真で見る町の変化」として、視覚的に町の変化が分かるページを設ける。</p> <p>(イ) 合併に関する編「平成の大合併と単独でのまちづくり」を設ける。</p> <p>(ウ) 現町誌で「文化」の編で記されていた「観光」は、「産業経済」の編で記す。</p> <p>(エ) 現町誌で「宗教」「民俗」は別編となっていたが、編を統合し「民俗」編とする。</p> <p>(オ) 現町誌の「文化財・文芸・観光」編は、現況を踏まえ、編名を「文化」とし、昭和50年代以降の文化活動について記す。</p> <p>(カ) 大型商業施設（エミフル）に関する編を設ける。</p>
<p>会長（議長）</p>	<p>質問・意見のある方に挙手を求める。</p>
<p>委員</p>	<p>スポーツ協会の会長という立場から発言させていただくが、一言も（スポーツの）文字が入っていない。第8編に「文化・スポーツ」というように入れていただけないか。えひめ国体も開催されたほか、スポーツ協会も松前町体育協会として昭和54年に設立されている。前町誌ができた後に設立されているので、そのあたりのことを記述するべきではないか、特に、国体もあったので、御検討をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>「文化・スポーツ」として記した方が良いという御意見であるが、事務局では、第6編「教育」の中の「社会教育」の章の中の一つとして、体育協会やホッケーのまちづくりについて記載する方法を考えていた。</p>

委員	文化活動、スポーツ活動は同じステージにあるように思う。皆さんの意見を聞き、考えていただきたい。
会長（議長）	<p>委員へ意見を求める。</p> <p>～委員から意見なし～</p> <p>今後、資料収集など進めていく中で、具体的な話など聞き、事務局とも話し合いながら決めていくことを提案。</p>
委員	（了承）
委員	<p>内容がどのくらいのボリュームになるのか分からないし、このくらい（内容の記載が）必要なのかもしれないが、第3編と第4編で約300ページ、全体の3割となり、バランスを見ても、前町誌から見ても「行政」が多いような気がする。</p> <p>これからバランスを考えていくのだろうと思うが、ぱっと見て、3割は多いという感じがする。</p>
委員	委託業者と町の「平成の大合併」に関する構成案（1～3章）が全然違っている。面白いと思ったので、説明をお願いしたい。
事務局	<p>委託業者の案では「評価」という章がある。松前町も始めは合併を進めていたが、結果的に単独でのまちづくりを進めた、そのことが「評価」できるのか事務局でも考えた。もちろん合併問題を経て今の松前町があると思うが、章を設け「評価」について記載するのは難しいと思う。</p> <p>国の合併推進を受け町も合併を進め（1章）、2章で合併協議会を立ち上げ、結果的に単独でのまちづくりを進めて今に至る（3章）という流れの方がきれいにまとまると思い、章を少し見直しさせていただいた。</p>
委員	そういうような議論も面白いのではないか。
事務局	合併の際に町民の皆さんにアンケート調査を行っているほか、委託業者からも合併問題が起こったときの町民皆さんの声も聞きながら執筆した方が良いと提案いただいている。皆さんの声を聞かせていただきながら、記事はまとめたいと考えている。

<p>委員</p>	<p>特別編「地図・写真で見る町の変化」については、取っ掛かりとして視覚的に分かりやすいところを設けることは、町誌のコンセプトというか、町誌に関心を持つ、町誌を活用する、そういうところで大事なのではないかと思う。</p> <p>例えば、1編の「位置・面積・人口、地形・地質、気候」だと、統計情報を地図上で表すというのは学校教育でもやっているし、地理教育の必須化も始まるので、特別編のボリュームを増やすか、(1編と)一体で視覚的な情報として表現していくと良いと思った。</p> <p>それから、電子書籍は「200枚」と書かれており、町誌は全体で1,000ページとある。1,000ページの中から必要な項だけ抜き出して電子書籍にしていくのか、どういう形で進めるのか。</p>
<p>委託業者</p>	<p>一つのPDFファイルの中に1,000ページ全部を入れる予定で、それをCDかDVDにパッケージ化したものを200枚作るというイメージである。先ほどPDFの容量についてお話させていただいたが、ひよっとしたら章ごとに分けないといけないかもしれない。1,000ページというのは非常に大量なボリュームで、開ただけで見る気がなくなる可能性もあるので、そこは協議の上で考えたいと思う。枚数というのは、CDやDVDなどにパッケージされたものの枚数であると御認識いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>データの活用という面で考えると、電子データにしてDVDなどに焼いて配るより、イメージとしてはホームページ上でデータとしてインターネットにアクセスして見られる形の方が、例えば学校教育で使用するのであれば活用しやすいと思う。値段のことなどもあると思うが、取っ掛かりとして、それを買うかなという疑問はある。</p>
<p>委託業者</p>	<p>今後、事務局と詰めていきたいと思う。</p> <p>1,000ページになるとかなり重いデータになると思うが、写真のページが少なく文字情報が多かったら、意外と軽くすむかもしれない。また、100MB以内だったらホームページでも掲載しても良いと思っているが、それ以上になってくると厳しくなるし、ダウンロードされる方がいれば容量が大きすぎると問題になるので、よく精査していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>今回の町誌は、電子化するということだが、続編という形になると思うので、旧町誌はデータ化しないのか。それらがそろって初めて一つの町誌になる訳なので、そこをどうするか聞かせていただきたい。</p>

事務局	<p>旧町誌に関しては、電子書籍媒体で販売するということろまではまだ検討できていない状態である。現段階では、今の冊子（旧町誌）をPDFでデータ化するというところまでは考えている。</p>
会長（議長）	<p>他に質問や意見がないため、 「続松前町誌（仮称）の構成（大枠）について」終了 事務局へ説明依頼「その他」</p>
事務局	<p>5 その他 【説明の概要】 ア 役場内での町誌編さん体制 各課に1名、庁内町誌編さん推進員を置き、その推進員を中心に各課で策定した計画、刊行物など、各分野における事業の変遷が分かるような資料を収集している。 イ 委員への資料収集協力依頼 ウ 昭和60年頃の動画放映</p>
委員	<p>「その他」に関し、意見なし</p>
<p>審議会終了</p>	